



オープンキャンパスがありました。

8月6日（日）に、島根大学教育学部のオープンキャンパスが行われました。会場となった大学ホールと20番教室には、島根大学教育学部への進学を考えておられる高校生や保護者の方々がたくさん集まってくださいました。

島根大学教育学部が求める学生像というのは、募集要項にもあるように以下の3つに集約されます。

1. 高等学校までの基礎学力を備えており、向上心をもって主体的に学ぼうとする人。
2. 豊かな人間性、子どもに対する愛情、教育的情熱を有する人。
3. 教師に要求される幅広い教養と専門的知識・技能を身につけ、社会の発展に貢献しようとする人。

午前中のオープンキャンパスは、学部の教員が教育学部の特色・魅力について話しました。その後、教育支援センターが担当した【学生フォーラム】が行われました。【学生フォーラム】では「1000時間体験学修の報告会～未来の後輩たちへのメッセージ～」という題で、学生たちがそれぞれの思いを語りました。島根大学教育学部では「1000時間体験学修」というものに取り組んでいます。これは、学校や地域社会に出かけていき、いろいろな方との関わりを持つ「基礎体験領域」、教育学部の附属幼稚園・小学校・中学校を中心に行われる学校教育実習Ⅰ～Ⅵやいじめや不登校などの教育的課題について学ぶ臨床・カウンセリング体験領域を含む「学校教育体験領域」の2つの領域から成り立っています。【学生フォーラム】は、この2つの領域について、学生自らの声で学びの姿を発表しました。入学してから4カ月余りの1回生でしたが、「学校教育体験領域」から「学校教育実習Ⅰ」を中心にした学びを、フレッシュさ満載で楽しく伝えるように発表しました。2回生・3回生は、「基礎体験領域」での学びを、自分自身の言葉で熱意をもって語っていました。島根大学教育学部の学生が取り組んでいる1000時間体験学修がどのようなものか、島根大学教育学部で学ぶことで身に付く力とはどのようなものか、発表した学生たちの姿から伝わったことと思います。

午後からは、専攻・コース別の入学体験があったり、入試概要についての説明・個別相談会があったり、国際交流連携活動や環境寺子屋での説明など、盛りだくさんでした。また、大学の施設見学として附属図書館やミュージアムの公開、学生寮の見学などもあり、施設の充実ぶりを見てもらいました。

島根大学は、主体的に学び、自らを高めようとする人を求めています。ぜひ島根大学教育学部に入学して、1000時間体験学修を4年間積み上げて、体験から得た学びをこれからの教育活動に生かしていけるような教育実践力を身につけ、すばらしい教育者として羽ばたいてほしいものです。



【学生フォーラム】参加学生の感想から…

今回のオープンキャンパスでは、自分が苦手だった人前で何かをするということを改善することができました。以前のオープンキャンパスに私は参加していて、自分も先輩方と同じく島根大学の良い点を後輩たちに伝えられて良かったと思います。自分自身の今後の課題として、発表中にミスをしてしまったら、そのまま立て直すことができなかったため、次に機会があればこのような点を改善していきたいと思います。

このオープンキャンパスは、普段では絶対に体験できない活動で、「とても楽しかった」「やって良かった」との満足感があります。やはりあの大きな場所とたくさんの人の前で発表するのはとても緊張しましたが、どうにか笑ってもらったり、感想を言ってもらったりして、思いを分かってもらえたかなと思いました。あっという間に終わってしまい、少しさみしいと感じている自分もいます。この体験のおかげで、大人数の前でも発表できるようになったと思います。

今回のオープンキャンパスに携わることができ、とても良かったと思います。みんながみんなできる経験ではなかったし、自分自身が成長できるチャンスをいただいて、それを活かすことができたと思っています。自分たちで協力し、発表内容を一から創り上げて発表することで、「コミュニケーション力」「積極性」「発表したいことをまとめる力」なども身につけることができました。人前で発表するのは緊張しましたが、理想とした教師に近づくためには必要となる経験でした。今後、このオープンキャンパスの発表で身につけた力を、より一層高められるように頑張っていきたいと思います。

初めて発表するメンバーと顔合わせをした際、知らない人ばかりで上手くやっていけるか少し不安でしたが、活動の中でたくさん意見交換をして協力することができました。私たちの発表を聞く高校生のことを考えながら発表を組み立てていくのは、とても難しかった面もあったけど、自分が高校生だったら、どういうことを聞きたいかを考えながら行うことで組み立てやすくなりました。発表では、人前に出ると緊張してしまうという自分自身の課題を再認識することができたので、もっと人前で話す機会を増やし、慣れていきたいです。

